

「楯岡高校跡地利活用基本構想案」に関する意見公募手続の実施結果について

1. 概要

本市では、平成 28 年 3 月をもって閉校となった楯岡高校跡地の利活用について平成 28 年 11 月に設置した「旧楯岡高校跡地利活用検討市民会議」をはじめ、平成 30 年 6 月には、具体的な施設利用のあり方を検討し、利活用に関する構想策定につなげるため、利活用希望者や有識者などで構成する「楯岡高校跡地利活用ワーキングチーム」を設置し検討を進めてきました。

このたび、これまでに得られた利活用の提案や意見を踏まえ、「楯岡高校跡地利活用基本構想案」をとりまとめ、市民の皆様からの御意見を募集しました。

その結果、23 件の御意見をいただきました。意見募集の概要、お寄せいただいた御意見の内容及び御意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2. 意見募集の概要

- ・ 募集期間 平成 30 年 12 月 1 日（土）から平成 31 年 1 月 18 日（金）まで
- ・ 提出方法 電子メール、ファックス、郵便、書面による直接提出
- ・ 周知方法 市ホームページ、市報（市民の友）、情報公開室、政策推進課、甕葉プラザ

3. 結果

（1）意見の提出方法

意見件数		23 件
内 訳	電子メール	13 件
	ファックス	0 件
	郵便	0 件
	直接提出	10 件

（2）意見に対する本市の考え方区分

- ア：御意見を踏まえ、当初案に反映するもの
- イ：御意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの
- ウ：今後の参考とするもの

（3）当初案への意見の反映

文教施設としての利活用に関する御意見が多数あったことを踏まえ、学校設置法人等との意見交換などにより、文教施設としての利活用について継続して検討していく旨を追加することとしました。

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	<p>多目的な要望を取り入れて、良い構想が出されたと思います。基本的には、将来の人材育成のための教育施設の充実を望みます。</p> <p>現在、楯中学区の子供たちは、スポ少で基点の市民体育館を利用していますが、楯岡でできると送迎も楽になり良いなと思います。是非、旧楯高の体育館を利用できるようお願いしたいと思います。</p>	<p>教育施設としては、文教施設としての利活用について継続して検討します。</p> <p>また、スポーツ機能として、既存の市内施設と同様に体育館、グラウンド等について、広く住民の皆さまに貸し出しすることを想定し検討します。</p>	ア
2	<p>楯岡高校の建物をコミュニケーション施設「わくわくコミュニティむらやま」（仮称）として活用する。施設内には村山市を更に知ってもらうため、市内各地域の名所名跡などの展示、楯岡商店街の紹介、村山市の食文化の体験や有料レンタルオフィスの開設など市民の交流の場とする。</p>	<p>コミュニティ機能は、すべての利活用の中核となる機能と考えており、年齢、地域、国籍を問わず多様な方々が気軽に利用できる場として導入を検討します。</p> <p>また、オフィス機能として、占有できる個室オフィススペースの設置についても検討します。</p>	イ
3	<p>広い外の運動場もあるので体育館と一緒にぜひ学生の方々が利用すると思います。</p> <p>山形市に集中している専門学校も子供の少ない社会で老人が多いこの頃、村山市に福祉的短大があればと私は考えています。</p> <p>年中往来の有る楯岡にして下さるようのぞみます。</p>	<p>スポーツ機能として、既存の市内施設と同様に体育館、グラウンド等について、広く住民の皆さまに貸し出しすることを想定し検討します。</p> <p>文教施設としての利活用についても継続して検討します。</p>	ア
4	<p>ラウンドワン、スポーツデポ、バッティングセンター、ヨークベニマル</p>	<p>小規模な貸し店舗スペースは、設置を想定しておりますが、ご提案いただいた大規模な商業施設については、出店の構想を有する事業者等から提案があれば、検討することとします。</p>	ウ
5	<p>（長文のため要約内容を記載）</p> <p>いろんな世代層が交流し、「よろず相談」の会話が自然と出来るコミュニケーション広場を作っていただきたい。子どもの世代、壮年世代、高齢の世代が、不安がなくなるように助言がもらえる場を作っていただきたい。高齢者などは時々、保健師、精神保健福祉士、社会福祉士、言語聴覚士など専門職が来て、健康相談が出来る場があったらいいと思います。高齢者は身体機能の低下がありますが、すばらしい知恵と経験を持っています。</p> <p>それぞれの知恵を経験が活かせるように生涯学習や合宿施設、ゲストハウス、民間施設貸与、近隣の宿泊施設等とのタイアップをしてほしい。</p>	<p>本構想では、利活用の全体方針として多様な方々が気軽に利用できるよう「コミュニティ性」に重点を置いており、特にコミュニティ機能は、すべての利活用の中核と考えています。</p> <p>また、健康づくり機能として、専門的な指導に基づく運動機会などを利用者に提供できるようフィットネス機能についても検討しており、利用者間の交流により、様々な連携が生まれるような施設となるように検討します。</p>	イ

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
6	村山市にはつい近年まで蚕検定所、養蚕研究所も在りました。絹糸を繕 <small>よ</small> ってつくるロープはいたって高強度でありいたって軽く広範囲で使用されます。改めて養蚕業再興の地として跡地利用を検討してみてもは。	ご提案いただいたような産業振興の機能については設置を検討しますが、養蚕業については、具体的に構想を有する事業者等から提案があれば、検討することとします。	ウ
7	とてもいいと思います。それから「甕岳」をよりながめられ身近に感じられるスペースがあればいいなと思います。駅の2階からながめる山々を見ると心がおだやかになります。	景観も楽しめる施設となるよう、今後の検討における参考とします。 なお、甕葉プラザ3階の甕岳テラスからも、甕岳を一望できますので、こちらもぜひご利用ください。	ウ
8	体育館有料解放（天童スポセンみたいな） 教室→学習室	スポーツ機能として、既存の市内施設と同様に体育館、グラウンド等について、広く住民の皆さまに貸し出しすることを想定し検討します。学習室については、業務や学習、会議等に利用できる機能を有した利活用を想定し検討します。	イ
9	村山市立図書館の分館も、学習スペースの中に組み込んで欲しい。蔵書についても市民からの寄付を受け入れられるようにして欲しいです。	図書館の設置は、甕葉プラザが近くにあるため分館としての位置付けは難しいところですが、図書館との連携のあり方については、今後の検討における参考とします。	ウ
10	こんな広い土地が、こんなにアクセスの良い場所にある。「新しい」インターナショナル・スクールを作りましょう。 ①英語による教科教育（小・中・高） ②外国語としての日本語教育 ③「第三の言語」教育 ④今後、遠方から入学する子供のための国際学生寮 ⑤地域学 地元の伝統文化、産業技術、歴史を探究。毎回「生き字引」をむかえて講義。	本構想案では、年齢、地域、国籍を問わず多様な方々が気軽に利用できる場としてのコミュニティ機能を、すべての利活用の中核であると考えています。施設を利用した国際交流イベント等の開催の構想もあります。 また、文教施設としての利活用についても継続して検討します。	ア
11	県の施設及び建物であるので市だけでなく県民広く人員を採用してもらいたい。1/2 は村山市でも県の財産であるのであるので東根の様に等価交換すれば別だが村山市が独占して使用は考えものである。	ご認識のとおり、楯岡高校は山形県の財産であるため、利活用については、今後も引き続き県に相談しながら検討します。また、地域を問わず多様な方々が気軽に利用できる施設を目指します。	ウ

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
12	<p>村山市の健康づくりの中核を担う事業所になりますように提案致します。</p> <p>子供から高齢者にいたるまで全ての年齢層に対応し、一人ひとりが健やかに生きて人生を楽しめるようにする。その為には「最上町健康クラブ」を参考にして同じようなものをつくって戴きたいです。</p>	<p>健康づくり機能としては、専門的な指導に基づく運動機会を利用者に提供し、市民に対する運動の習慣化や、運動による健康寿命の延伸などを図ることができるフィットネス機能の導入について検討します。</p>	イ
13	<p>楯高会館を活用し、日本人学生に加え、外国人留学生も対象とする地域密着ビジネスの専門学校としての活用することを提案。</p> <p>外国人留学生誘致を実施し、当該留学生に対して農業や伝統工芸事業をはじめとする地元企業関係者を中心とし IT 活用・海外進出・観光ホテル業等を軸に職業訓練を実施、当該地元企業等への就職斡旋を行うことにより、地域住民並びに学生のコミュニケーション活性化による街全体の活気向上と、山形県地元企業の人材不足問題の解を目指すもの。</p>	<p>地元産業における人材不足問題は、市としても大きな課題と認識しています。ご意見を踏まえながら、文教施設としての利活用について、継続して検討します。</p> <p>外国人留学生の受入れについては、国の制度が大きく変化しているところであり、動向に注視しながら情報収集に取り組みます。</p>	ア
14	<ul style="list-style-type: none"> ・運動施設、貸しスペース ・アミューズメント施設 ・季節関係なく子供を遊ばせてあげる施設 <p>市内の中学生、小学生にも村山市に対する子供の意見を聞き反映することで多くの年代の人に利用してもらえるような施設にすることができると思います。</p>	<p>運動施設としては、トレーニングマシンを使った運動や運動指導を行うことが可能なフィットネス機能の導入や、体育館、グラウンド等について、広く住民の皆さまに貸し出しすることを想定しています。</p> <p>貸しスペースに対応したコワーキング機能や体育館等を利用した子どもの遊び場機能なども想定し、検討します。</p>	イ
15	<p>グラウンドを公園として楯岡高校の利活用を提案します。なぜなら、村山市に住んでいる子供たちや学生、大人が気軽に運動でき村山市の健康増進に貢献できる場所になってほしいから。この利活用をすることで、地域の子どもたち、親子、お年寄りの人たちのコミュニティが作れる。そして、子どもたちが家で遊ぶだけでは学べないような使い方やマナーなどが自然に身につけられるようになると考える。</p>	<p>施設環境改善のためグラウンドの一部に緑地を整備することや、気軽に運動できるようなフィットネス機能及びスポーツ機能の設置を想定しています。</p> <p>また、利活用の全体方針として、多様な方々が利用できる場としてコミュニティ性に重点を置き、コミュニティ機能をすべての利活用の中核として検討します。</p>	イ

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
16	<p>運動・スポーツ施設として利活用を提案します。なぜなら東根工業高校であった場所をスポーツ施設として建て替えた結果、今も利用者が多い事から同じ様にすれば集まるのではないかと思ったからです。例えば県内のスポーツ施設の中でもボルダリングは少なく最近ブームになってきているので体育館にボルダリングを作ることです。”少ない”というところから人が興味を持ったり、村山の一つの代名詞として成り立つと考えます。</p>	<p>スポーツ機能として、既存の市内施設と同様に体育館、グラウンド等について、広く住民の皆さまに貸し出しすることを想定し検討します。ご意見のあったボルダリングについても、子ども遊び場・スポーツ機能に係る利活用案のひとつとして検討します。</p>	イ
17	<p>幼老複合施設として利活用を提案します。なぜなら人口が年々低下し、このままでは若者が少なくなり地域の発展よりも、市外に出て行く可能性があると思います。村山の歴史を若者に知ってもらうためには高齢者との関係を築き、共に頑張らなければならないと思います。小さい子どもに歴史を教え、村山市をもっと知ってもらい大人になるにつれ村山と前向きに向き合い発展に向けて一人一人が村山について考えられるように高齢者が伝えられるととてもよい場所だと思います。</p>	<p>本構想では、利活用の全体方針として多様な方々が気軽に利用できるよう「コミュニティ性」に重点を置いており、特にコミュニティ機能は、すべての利活用の中核となる機能と考えています。ご意見のあった子どもから高齢者までが集い多様な方々が気軽に利用できるように検討します。</p>	イ
18	<p>貸しオフィスとして利活用を提案します。なぜなら現在の村山市は年々人口が減少していて活気がありません。そこで、貸しオフィスを設置することで市外から働きに来る人が増えます。そこで村山市に来た人が周りにある他の施設を利用することで村山市が活性化するのではないかと考えたからです。</p>	<p>貸しオフィスとしては、業務や学習、会議等に使えるオープンスペースと、事業者が入居できる占有可能な個室のオフィススペースなど、利用者が多様な活動ができる機能を有した利活用を想定して検討します。</p>	イ
19	<p>飲食店としての利活用を提出します。なぜなら村山市の飲食店は年々減少しています。そして旧楯岡高校が廃校になったことでより昼間人口が減り、市民の人たちは市外に流れていることが現実です。飲食店を作り、市外に流出してしまう市民が満足できるような飲食店を立案します。そばを使ったカフェを運営することで外国人観光客数が増加し、インバウンド効果が期待でき、村山市の方々と外国人との触れ合いの場が増えると考えました。</p>	<p>本構想案では、コワーキング機能及びオフィス機能の利活用案の中に、ショップや工房としての活用、また企業支援機能も想定しています。その利活用案のひとつとして飲食店なども考えられ、今後の検討における参考とします。</p>	ウ

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
20	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体で使えるカードを作り、商店街でも使えるようにして交流を深める ・イベント開催（施設の代表者のミーティングを通して）雪まつり、縁日 	<p>ご提案いただいたご意見については、具体的に施設の運営主体が決まった段階で相談することとし、今後の検討における参考とします。</p>	ウ
21	<p>（長文のため別紙参照）</p>	<p>ご提案いただいたご意見については、施設整備に係る設計や設備の検討の際に参考にしながら、今後の検討における参考とします。</p>	ウ
22	<p>（長文のため別紙参照）</p>	<p>農業については、市の主要な産業であり、その担い手の確保は、市としても大きな課題と認識しています。ご意見を踏まえながら、文教施設としての利活用について、継続して検討します。</p>	ア
23	<p>天童市にある「げんキッズ」のような親子で遊べる施設が欲しいです。英語やヨガ、リトミックなど幅広い内容の講座を催して頂けると助かります。</p>	<p>親子が遊べる機能としては、空間のほとんどを占有する巨大遊具や用途が限定される設備などは設置せず、子どもたちが自由な発想で遊ぶことができるスペースを設けることを検討します。</p> <p>ご意見にもある英語やヨガといった幅広い内容の講座やワークショップ、生涯学習など多様な活動ができるコミュニティ機能の導入についても検討します。</p>	イ

○意見の要旨

(1) コミュニティ機能 p. 22(18)

- ・ 事務用品・消耗品等を扱う簡易売店があれば、より便利。

(2) コワーキング機能 p. 23-24(19-20)

- ・ 業務用には有線 LAN も必要ではないか。
 - 無線 LAN 最大 6.9Gbps (IEEE802.11ac 等)
 - 有線 LAN 最大 1Gbps 以上×N
 - 電磁ノイズに強く、継続して安定した通信が常時可能なこと。
 - 高い実効速度 (広帯域) を確保可能なこと。
 - 大量のデータを短時間で転送可能なこと (ウェブサイト制作データをアップロードする場合等を想定)。
 - 各利用者ごとに、それぞれ強固なセキュリティが確保されること。
- ・ コミュニケーションを想定しつつも、思考を中断されずに集中して作業することも可能なように、一部は仕切りで区切られたデスクも幾つか必要ではないか。
- ・ 予め“Windows To Go”等を利用可能なPCを何台か設置してもらえれば利用したい。
 - USB-メモリ/USB-HDD 等のみで業務環境・データを持ち運べ、PC 本体を持ち運ぶ必要がなくなる。
 - ゲーム目的の人に PC が専有されないようにしてもらいたい (または、甕葉プラザ図書館 2 階の PC に限りゲーム可とする)。

(3) オフィス機能 pp. 24-25(20-21)

- ・ 上記のコワーキング機能を参照。

(7) 拡張機能 p. 27(23)

- ・ ハローワークを移設し、元のハローワークは児童施設等にリニューアルするという考えも要検討。

●各機能の配置について

- ・ 関係が近い機能ほど互いに近くに配置し、関係が遠い機能ほど互いに遠くに配置するのが効率的で合理的。
- ・ 機密性が必要な機能ほど奥に／上層に、開放性が必要な機能ほど表に／下層に配置するのが安全で合理的。
- ・ 現状の施設配置を考慮するなら、業務向けほど西側に、子供向けほど東側に配置するのが低干渉で合理的。

以上の各原則に基づき、業務向けの性質が強い順に各機能を並び替えると、

◆エンタープライズモジュール

(3) オフィス機能 pp. 24-25(20-21)

- ・ 管理棟 3 階が適する（社会視聴覚教室・英語ゼミ室等）。
→生徒昇降口から入り、更衣室の東の階段を上る。

(2) コワーキング機能 pp. 23-24(19-20)

- ・ 管理棟 2 階が適する（進路指導室・電算教室等）。
→生徒昇降口から入り、更衣室の東の階段を上る。

◆コミュニケーションモジュール

(1) コミュニティ機能 p. 22(18)

- ・ 管理棟 1 階、玄関の付近が適する（事務室・職員室等）。子供向け等。
→玄関から入る。
- ・ 講堂をコミュニティ機能の一部とするのであれば、業務向けが適する。
→生徒昇降口から入り、北へ向かう廊下を渡る。

◆キッズ&フィジカルモジュール

(6) 子どもの遊び場・スポーツ機能 p. 27(23)

- ・ 体育館・柔剣道場・グラウンドが適する。

(5) フィットネス機能 p. 26 (22)

- ・ 楯高会館が適する。

◆その他のサポートモジュール

(4) ゲストハウス機能 p. 25-26 (21-22)

- ・ 管理棟 2 階の音楽室・書道室等が適する。
→生徒昇降口から入り、図書室の北の階段を上る。

(7) 拡張機能 p. 27 (23)

- ・ ハローワークを移設するのであれば、特別教室棟が適する。
→生徒昇降口から入る。

○意見の要旨

1. 楯校の利活用構想をまとめていただき、有難うございました。いろいろの要望に沿って、いろいろな角度から調査やご検討をされておられて、良いものが出来がったと思います。楯岡高校跡地の利活用の全体方針を、「多様な利用者が集い、にぎわいの創出と経済効果を生む拠点」としますとの、賛成です。
2. 小生は「大学を中心した地域おこしや地方創生」を目の当たりにしてきましたので、「にぎわいの創出と経済効果を生む拠点」ということでは、大学誘致が一番良い方策だと思ってきました。とくに、村山市は農業が中心的な産業であることから、新しい農学教育による地域リーダーの養成を目的に、植物（動物）生産、植物（動物）の加工（生産物の出口）、それらの経営を含めて、全般にわたる教育課程を再構築して、実学を復権したいと思います。

なお、「アンケート調査の結果、複数の法人から「跡地の全部又は一部を活用した事業展開の可能性」が「ある」又は「条件によっては検討する」との回答がありました。当該学校設置法人と個別に意見交換を行うなど誘致活動に当たっていますが、文教施設設置の合意までには至っていないところです」点で、以下の提案を申し上げたいと思います。

3. 文教施設設置の可能性があるとしたら、全力あげて取り組むべきであると思います。その上で、
 - 1) 18歳収容力が山形県は、近隣の県と比較して、どの位置なのか。低いとしたら、高めることが、必要だと思い、県に要望することも一法だと思う。検討が必要だと思う。
 - 2) 新庄から村山にかけての仙台行きのバスが一杯であるとの話を聞くが、それら高校生の大学、短大、専門学校の志望学科とそれぞれの就職先を調査することで、文教施設の分野を検討することが必要であると思います。